

# 翠園文庫

本学教授の研究の縁により、鈴木重嶺の直系の子孫の国語学者松本誠の奥様から鈴木重嶺（翠園）関係資料として寄贈され、平成8（1996）年に設立した文庫である。

鈴木（号は翠園）は、江戸幕府では最後の佐渡奉行となり、明治政府の官僚を辞してからは、和歌の世界で活躍した。明治24（1891）年の「早稲田文学」第3号において、和歌の名家として挙げられ、明治28年（1895）年には、短歌雑誌「詞林」を創刊。のちに「詞林」は佐佐木信綱の創刊した「心の華」に合併した。

勝海舟や樋口一葉とも交流があり、葬儀の際は、華族や全国の文化人や歌人が参列した。

図書468冊（短冊を含む）を収蔵している。